資料５

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業（３月末現在）

基本目標１　気づきあい・思いやり・助け合いの意識を持った地域づくり
　基本方針２　お互いに思いやり、助け合える関係を作ろう
　　４　地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業
　　支え合いのしくみづくりの出前講座　・・・　Ｐ．１

基本目標２　つながり、交流し、支えあう地域づくり
　基本方針１　必要な人に必要な情報をわかりやすく伝える環境を整えよう
　　６　北区地域福祉推進フォーラム　・・・　Ｐ．２

基本目標３　だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
　基本方針１　地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう
　　２　自治・町内会長地域福祉研修会　・・・　Ｐ．４

基本目標３　だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
　基本方針１　地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう
　　３　地域福祉座談会　・・・　Ｐ．６

基本目標３　だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
　基本方針２　だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう
　　３　ボランティアきっかけづくり講座　・・・　Ｐ．８

基本目標３　だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
　基本方針２　だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう
　　４　ボランティアカフェ　・・・　Ｐ.１０

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標１	気づきあい・思いやり・助けあいの意識を持った地域づくり	
基本方針２	お互いに思いやり、助けあえる関係を作ろう	
４	事業名	地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 支え合いのしくみづくりの出前講座

事業概要

［事業の目的］

地域包括ケアシステム構築の背景や、支え合いの手法について理解を深め、地域での支え合いのしくみづくりの取り組みのきっかけになるよう啓発を目的とした出前講座を開催する。

［事業内容］

・日時、会場：出前講座依頼先との調整
・対　象　：北区内　自治・町内会長、役員等
・内　容　：出前講座メニューから選択
　１　支え合いのしくみづくり座談会
　　１－１：お住まいの地域の現状や課題について話し合おう
　　１－２：隣近所の助け合い体験　【カードゲーム】
　　～助け上手・助けられ上手になろう～
　２　見守り・安否確認
　　２－１：なぜ見守りが必要なの？どんな効果があるの？
　　２－２：見守り・安否確認の活動事例を見てみよう！
　３　地域の居場所　～地域の茶の間　サロン　など～
　　３－１：地域の居場所ってなあに？～役割と効果～
　　３－２：地域の居場所を立ち上げるには？
　　３－３：居場所の事例を見てみよう！
　４　訪問型生活支援　～ちょっとした生活の困りごとへのお手伝い～
　　４－１：訪問型生活支援ってなあに？　～役割と効果～
　　４－２：訪問型生活支援の活動事例を見てみよう！

・周知　自治・町内会長へのチラシ送付、各地区集まり等での周知

事業実績

［事業実績］（3 月末現在）
　延べ参加者：６，１７５名
　参加団体：茶の間・自治会・コミュニテイ協議会・民協・学校等

［課題と今後の方向性］

出前講座を継続し、支え合いのしくみづくり会議と推進員が共に支援を行うことで、住民の支え合いの意識形成を図り、地域に合った取り組みを推進する。

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標２	つながり、交流し、支えあう地域づくり	
基本方針１	必要な人に必要な情報をわかりやすく伝える環境を整えよう	
６	事業名	北区地域福祉推進フォーラム

事業概要

［事業の目的］

区民への地域福祉に関する啓発の機会および地域福祉計画・活動計画の推進を目的とする。［新潟医療福祉大学・北区健康福祉課共催］

［事業内容］

日時：１１月３０日(土)１３：００～１６：００
会場：新潟市北区文化会館　ホール
対象：北区区民等
参加者：２０３名
内容：
第１部　新潟市北区社会福祉協議会会長表彰式
　　日本赤十字社表彰式

第２部　基調講演
　　演題「むすぶ手・つなぐ手　～あなたは、
　　どんな地域（まち）に暮らしたいですか？～」
　　講師　ご近所福祉クリエーター 酒井　保　氏

第３部　実践報告
　　コーディネーター　ご近所福祉クリエーター　酒井　保　氏
　　報告①　髙松　晶　氏　（あなたの居場所　くつろぎポッポ）
　　報告②　柳澤　明仁　氏（長浦コミュニティ委員会）
　　報告③　安中　裕紀　氏・向　杏奈　氏（新潟医療福祉大学作業療法学科）

周知：区だより、新潟市 LINE、区社協ホームページ、ポスター・チラシの作成と配布、関係団体への周知

事業実績

［事業実績］

この街で暮らし続けたい ～一人ひとりの『できる』で支えあうまちづくり～をテーマに開催した。基調講演ではご近所福祉クリエーターの酒井氏から「むすぶ手・つなぐ手　～あなたは、どんな地域（まち）に暮らしたいですか？～」と題して、一人ひとりが無理のない範囲で支えあうまちづくりを進めていくためのヒントについて学ぶことができた。

また、北区内の地域福祉の実践者から活動報告を行っていただき、世代を問わず「この街で暮らし続けたい」と思えるまちにしていくために、私たちに何ができるのかを考えていくきっかけづくりにつながる機会となった。

○来場者：２０３名
○アンケート結果　回答率 58.6%（回収数 119 名／来場者数 203 名）
① 年代
・40 代以下 5%　・50 代 7%　・60 代 21%　・70 代以上 63%　・無回答 4%
② フォーラム全体の印象はいかがでしたか。
・大変よかった 51%　・よかった 39%　・ふつう 6%　・無回答 4%
③ 自由感想（抜粋）
・基調講演が面白く、とても分かりやすかった。多様な視点からの実践報告も良かった。
・地域や大学の発表も初めて知ることが多く今後の活動に役立てていきたいと思います。
・地域の活動をしていることを良く知れて良かった。こんなに良いことをしていることを知らなかった。
・地域の諸問題に具体的に関わってみたいと思う。地元の「茶の間」運営側の一員として参加するつもりです。
・地域にサロンのようなものが作れたら良いな～と思った。
・仕事をいつまで続けるか、その後の地域での活動、交流について再度考えさせられました。ありがとうございます。　など

［課題と今後の方向性］
地域課題に基づいたテーマ設定のもと、地域福祉推進フォーラム（基調講演・実践報告）を開催し、区における地域福祉のさらなる推進を図る。

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標３	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり	
基本方針１	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう	
２	事業名	自治・町内会長地域福祉研修会

事業概要

［事業の目的］

新潟市社会福祉祉協議会の会員会費の取りまとめをお願いしている自治・町内会の代表者に、地域福祉についてさらに理解を深めていただくとともに、北区社協の事業等について説明する機会とする。［北区地域総務課共催］

［事業内容］

・日時　１０月８日（火）１３：３０～１５：３０
・会場　北区文化会館　ホール
・対象　自治・町内会長等、北区社協役員、地区社協関係者、民生委員・児童委員
・内容
　⑴基調説明
　「平時における防災・減災に向けた地域づくり」
　⑵活動紹介
　①西区社会福祉協議会
　「令和６年能登半島地震における新潟市西区災害ボランティアセンター実践報告」
　②松浜みなと自治会（松浜地区）
　「松浜みなと自治会の防災の取り組みについて」
　③ディスカッション・質疑応答
　⑶事業説明
　北区地域総務課・北区社会福祉協議会
・その他　研修会終了後１６時まで、ホワイエにて相談コーナーを設置
・周知　　対象宛てに案内文書を送付

事業実績

［事業実績］

○参加者：１４６名

○アンケート結果　回答率 80.8%（回収数 118 名／参加者 146 名）
①年代
・40 代以下 4%　・50 代 3%　・60 代 28%　・70 代以上 64%　・無回答 1%
②所属　※重複回答あり
・自治・町内会役員 68%　・民生児童委員 24%　・その他 8%
③自治会役員就任年数

・１年目　20%　　・2 年目～5 年目 25%　　・6 年目～10 年目 17%
・11 年目～20 年目 6%　・21 年目～34 年目　5%　・無回答 27%

④内容について教えてください。

・大変参考になった 47%　・参考になった 52%
・あまり参考にならなかった 0%　　・無回答 1%

⑤感想（抜粋）

・本日参加してみて常日頃災害避難所について又要支援者の状況を確認、避難生活についてシミュレーションを考えていきたいと思います
・受援力という言葉を学んだ、支え合うつながり活動の重要性の再認識
・今までの研修会と違い災害時のトイレ問題、ボランティアセンターの話が聞けて良かった
・被災時において地元住民の大切さを痛感した、日頃から顔の見える関係づくりを大切にして行きたいと思った
・たまたま役員をしていたので参加できましたが、もっと自由に常に会っているご近所同志が参加できる研修もいいかと思います

［課題と今後の方向性］

当事業も１１月に実施した地域福祉推進フォーラムも目的や参集者が重なる部分が多い。参加される方の負担軽減を図りつつ、今後も地域福祉の推進について自分事として受け止め、積極的に関わっていただけるよう、令和７年度からは当事業を地域福祉推進フォーラムに統合する。

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標３		だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
基本方針１		地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう
３	事業名	地域福祉座談会

事業概要

［事業の目的］

「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン２０２１」（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の推進のため、地域福祉座談会を各地区社協（コミ協）の圏域ごとに開催し、地域包括ケアの推進を踏まえながら、各地区での見守り・生活支援の実施など、具体的な取り組みにつながることを目的とする。

［北区健康福祉課共催］

［事業内容］

・日時　各地区社協の状況に応じて日時を決定し開催
・会場　各地区８か所
・対象　地区社協関係者、コミ協役員、計画推進委員、地域包括支援センター
　　支え合いのしくみづくり推進員、介護事業所、学校関係者、区民等
・内容
　「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン２０２１」（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の推進のため、評価方法も含め 具体的取り組みの検討を行う。
・「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン２０２１」について、区民及び関係団体への周知、各地区での広報・おたより等への掲載

事業実績

［事業実績］ 8 地区開催・延べ参加者 259 名

松浜地区 2 月 1 日(土)参加者 39 名　南浜地区 1 月 25 日(土)参加者 39 名
濁川地区 12 月 8 日(日)参加者 36 名　葛塚地区 1 月 22 日(水)参加者 29 名
木崎地区 12 月 19 日(木)参加者 37 名　岡方地区 12 月 4 日(水)参加者 21 名
長浦地区 12 月 3 日(水)参加者 34 名　早通地区 12 月 23 日(月)参加者 24 名

［課題と今後の方向性］

地域住民をはじめ、多様な機関や団体の参加のもと、各地域の実態に即した形式で開催する。地域福祉活動計画の検証の場として、地域福祉座談会を継続する。

濁川地区

木崎地区

長浦地区

岡方地区

葛塚地区

早通地区

松浜地区

南浜地区

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標３		だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり
基本方針２		だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう
３	事業名	ボランティアきっかけづくり講座

事業概要

［事業の目的］

ボランティア活動に興味や関心がある人を対象に、ボランティアをする人も受ける人も、共に楽しく安全に過ごせるよう、ボランティア活動を行う際の基本的な考え方や、支援が必要な方へのサポート方法を学ぶ機会として実施する。

［事業内容］

開催回数：１回
延べ参加者：１５名
対象：ボランティア活動に興味や関心がある人
周知方法：ボランティア団体・個人への案内送付
　　チラシ・ポスターを作成し、関係機関へ送付

事業実績

内　　容：説明／体験「コーヒーの淹れ方」　計１回
実施時期：６月２９日（土）１４：００～１５：３０（１５名）
会　　場：長浦コミュニティセンター
対　　象：ボランティア活動に興味や関心がある人
参 加 者：１５名

	【効果】 年代や男女・住んでいるところが違う参加者であったが、コーヒーが共通のテーマとなり、会話も弾み終始賑やかな雰囲気となった。 また、地域の茶の間の「担い手」が、自分の活動する地域の茶の間の「参加者」にコーヒーを入れたいという考えで参加していたことを知ることができ、目的のひとつである「活躍（支援）」につながると感じることができた。 ［課題と今後の方向性］ 講座での参加をきっかけに、障がい者の方への買い物支援活動、障がい者施設でのイベントのお手伝い等、実際の活動につながるケースがあった。講座終了後のフォローアップが重要であることから、当センターの「つなぐ」支援と活動の「情報提供」も含めて、講座受講者との関わりを強めていきたい。 ボランティア活動に参加するきっかけを作る機会とすることに加えて、新潟市北区地域福祉活動計画における、具体的な取り組みの方向性を講座のテーマとすることで、受講者の学びを地域で生かせるように地域での活躍支援を継続していく。

令和６年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標３	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり	
基本方針２	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう	
４	事業名	ボランティアカフェ

事業概要

［事業の目的］
・月に１回、ボランティアやボランティアをしてみたい人、障がいがある人などが広報紙などの折り込み作業などを行いながら、出入り自由に交流できる場（ボランティアカフェ）として開催する。
・ボランティアの育成につながるようボランティア相談も実施する。

［事業内容］
・日時　毎月第４木曜日　１０：００～１１：３０
・会場　さわやか老人福祉センター　会議室あやめ
・対象　ボランティアやボランティアをしてみたい人、障がいがある人など
・内容　ボランティア情報紙発送作業
　　切手整理、縫い物、布切り作業、工作等

事業実績

［事業実績］
開催回数１２回、　延べ参加者数１５９名
○参加者数
　第７０回　令和６年　４月２５日（木）：１４名
　第７１回　令和６年　５月２３日（木）：１８名
　第７２回　令和６年　６月２７日（木）：１５名
　第７３回　令和６年　７月２５日（木）：１２名
　第７４回　令和６年　８月２２日（木）：１０名
　第７５回　令和６年　９月２６日（木）：１３名
　第７６回　令和６年１０月２４日（木）：１６名
　第７７回　令和６年１１月２８日（木）：１６名
　第７８回　令和６年１２月２６日（木）：１３名
　第７９回　令和７年　１月２３日（木）：１２名
　第８０回　令和７年　２月２７日（木）：１２名
　第８１回　令和７年　３月２７日（木）：　８名

【効果】
○参加者にとっては定期的に通う場として定着しており、開催側としても参加しやすい場として受け止められていたことが、ボランティアカフェの目的と

	重なっている。 〇参加者で会話を楽しむ人、作業だけを好む人、それぞれが自由に活動できており、よいバランスが保てている。 ［課題と今後の方向性］ 多様な主体・年代の参加者が、活動を通して地域住民ボランティアとの関わりや交流できる居場所として定期的に開催していく。 また、関係機関との連携を行い、社会参加のきっかけの場としての役割を継続していく。